

文庫 八事山

2021・春

春季彼岸会/十三参り

令和3年1月〔寺報・年4回発行〕

発行所 高野山真言宗 別格本山 八事山興正寺

息 吹



高野山真言宗
別格本山 八事山興正寺

<https://www.koushoji.or.jp>
TEL 052-832-2801 FAX 052-832-8383



息吹

毎年厳しい北西からの寒風（伊吹おろし）に耐えながらこの地で住職として新しい年を迎えて三十年の月日が経とうとしています私が住職を務めさせていただいている西尾張の阿弥陀寺は 元々八事山興正寺の開山であります天瑞圓照大和尚の布教の場として建立されたお堂であります

月の連休頃に田んぼに水が引かれると蛙の出番です。蛙の大合唱で夜も眠れないほどになります。こうした田舎ぐらしの生活での恵み豊かさそして厳しさを目の当たりにし自然の息吹を感じています。

私は在家の生まれでありましたが菩提寺の住職との仏縁をいただき中学二年で興正寺に入寺し小僧時代を過ごしましたその後高野山時代は宿坊寺院でお

の頃より仏画の勉強をさせて頂き 多くの信者さんに仏さまの教えを伝えさせていただきました

名古屋に帰った後
結婚を機に当時の興正寺のご長老の方より
阿弥陀寺を賜りました

をし「命を宿る」儀式を行います
開眼される前はただの物であつたり絵であります
が命が宿り仏さまが誕生します その時こそ

せんでしたので、興正寺で法務しながら手探りの日々が続きました

私は興正寺を通して本当に多くの人々に

ました

みづの ぶんじん
長老 水野 文人

昭和43年入山。高野山大学卒。
現高野山真言宗愛知宗務支所長・現高野山本山布教師
元東海地区第三地域伝道団長



春季彼岸会

◎ 春季彼岸合同供養会

◎ 人形仏具供養会

◎ 動物慰靈法会

◎ 永代祠堂法会

三月十七日～二十三日

世相等により、掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります。



春季彼岸合同供養会

春のお彼岸合同供養を厳修致します。ご来寺、ご焼香賜りますようご案内申し上げます。尚、ご納骨有無に関わらず、どなたでもご供養させていただきます。

日 時 三月十七日～二十三日
各日／十時・十一時半・十四時
場 所 光明殿二階 ※ご納骨場所に関わらず
申込・締切 郵送受付(払込)
申込書に記入、返信用封筒でご返送。
供養料は郵便局より払込み。
締切／三月九日まで

卒塔婆供養料
六尺 三万円・五尺 二万円
四尺 一万円・二尺 五千円
※一霊・先祖代々に関わらず

遙拝供養

ご都合により合同供養会に参列できない皆様には、遙拝供養をお勧め致します。
事前にお申込みください。ご供養させていただき、卒塔婆は僧侶にてお供えさせていただきます。

永代祠堂法会(招待制)

西山本堂奥に位置する『靈牌殿・位牌殿』に永代経位牌をお祀りされた皆様の彼岸法会。

日 時 三月二十日
十時半・十二時・十三時半
場 所 西山本堂
申込 別途招待状を参照ください

人形仏具供養会

思い出がたくさんつまつた人形・仏具に感謝を込めてお別れを。

日 時 三月二十日 九時～十三時
＊十三時より供養会を勤めます。
十三時までに受付を終了ください。
場 所 光明殿一階
供養料 一口 三千円より
申込 当日受付
● 一口の目安
三辺の合計が100cm以内の段ボール、もしくは、45ℓ相当の袋に入る程度。(大きさが100cmを超える場合は、一口五千円以上となります。)

● 供養品例
雛人形・五月人形・ぬいぐるみ御守・御札等。尚、ガラスケース入りの人形等は安全の為、ケースを外してお持ちください。素材によりお預かりできない場合はご了承ください。仏具は事前に電話でご相談ください。
※卒塔婆用意の為、なるべく事前の申込をご利用ください。

来寺受付(現金)
申込書に記入、供養料と共に納め。
締切／当日まで

要予約 圓照堂お位牌出しについて

右記期間中は、事前予約にてお位牌出しを承ります。お骨出しは出来ません。

締切は、希望日の前日十五時まで。

予約は、電話は052-832-2801

来寺は圓照堂・納経所。

六波羅蜜

お彼岸の真ん中の日(中日)を、ご先祖様に感謝する日とし、その後にご先祖様の供養のためお墓参りをします。

中日の前後六日間は「六波羅蜜」と言われる仏教修行をする日とも構えています。修行と言われると身の善悪をきちんと判断・行動できるよう、一日にひとつずつ心掛け、自身を振り返る期間と捉えてみましょう。

- 布施 (ふせ) 人のために善いことを、分け与えましょう
- 持戒 (じかい) 規律を守りましょう
- 忍辱 (にんにく) 苦しさや困難に耐え、怒りを捨てましょう
- 精進 (ぜうじん) 最善を尽くし努力し、継続しましょう
- 禅定 (ぜんじょう) 心を落ち着けて、安定させましょう
- 智慧 (ちえ) 真実を見抜く力を身につけましょう

卒塔婆に込められたこと

平安時代後期には天皇の墓所近くに卒塔婆が建てられたという記録も残るそう。世の中が混迷なりました。



動物慰靈法会

動物慰靈法会を左記の通り厳修いたします。

奉納ぼたもち	皆様に代わりご先祖様へのおもてなし、『またもち』の奉納をいたします。おひとりでも、縁者共同でも、どうぞお供えください。(お名前を堂内にあげさせていただきます)
申込	郵送受付(払込)
供養料	一霊 五千円 (卒塔婆含)
申込	複数霊お申し込みの際はご相談ください。
締切	三月九日まで

※当日参列不可の場合、遙拝供養も承ります。
※当日受付可。卒塔婆用意の為、なるべく事前の払込申込を。

申込書に記入、返信用封筒でご返送。奉納料は郵便局より払込。(当日受付可)

奉納料 一口 1,000円



想耕茶会「野の花茶席」

五月七日



和花講師 中島由佳氏による野の花いけばなを
愛でながらのお茶席。道端に咲く花の健気な美
しさに触れてください。

時 間 ①十時半～②十三時～③十四時半～
茶 券 一五〇〇円
申 込 三月七日 十時より(電話)

同行永代経

五月十三日

十四時



興正寺に長年ご縁があり、縁日や行祭事などに
ご尽力頂いた方々のご供養を勤め、現在ご尽力に
頂いている方々にご焼香いただきます。

場 所 竹翠亭
時 間 三月七日 十時より(電話)

花まつり

五月十九日

十三時



旧暦四月八日にお釈迦さまが御生まれになら
れた時、竜が甘露の雨を降らせた伝記に則り法
会を厳修いたします。お釈迦さまがお生まれにな
なつて悟りを開き、その教えに触れることがで
きることを感謝し、法会にご参拝ください。

場 所 西山本堂
時 間 三月八日 十時半～十二時

夏安居開白

五月二十七日～八月二十二日

九時

仏教徒として戒律を守っているか否かを戒
めの夏安居を修行します。戒律のお経である
「梵網經」をお唱えし懺悔と持戒の大切さを説
いております。

場 所 西山本堂
時 間 三月二十七日～八月二十二日 九時

変更のお知らせ

一月二十五日

「文化財防火デー消防訓練」について

昨今の新型コロナウイルス感染症の

状況を踏まえ、僧侶職員のみで行う

ことを決定致しました。何卒ご理解
いただきようお願い致します。
尚、その他行事に関する最新情報は公
式サイト・電話にてご確認ください。

世相等により掲載の予定(参拝方法含)は変更・中止となる場合があります。
最新情報のご確認は公式サイト・電話でお願い致します。

永代供養の申込み

天瑞いづみの会

興正寺では、寺内に永代
供養付きの納骨堂やご事情
にあわせた供養の方法を
ご相談いただけます。見学、
お申込みは隨時受け付けて
おります。

ご相談は、興正寺の僧侶・
職員にてお受け致します
のでご安心ください。



永代祠堂

靈牌殿に位牌をお祀り致します。

個人を単位に、どなたでもお申込みいただけます。

■ 永代祠堂

五十万円

費用には、永代供養料(春彼岸の合同法要)、
位牌製作費、紐解き法要料が含まれています。

繰り出し位牌なので、一靈五十万円で追加が
できます。

■ 特別永代祠堂

百五十万円

費用には、永代供養料(春彼岸の合同法要)、
位牌製作費、紐解き法要料が含まれています。
お骨を専用の骨壺に移し、専用の位牌と共に圓照堂
にて納骨後三十二年間お預かりの後、合祀致します。

圆照堂

永代供養付き納骨堂です。

一人用(先祖代々を含む)と夫婦用の二種類があり、
お骨を専用の骨壺に移し、専用の位牌と共に圓照堂
にて納骨後三十二年間お預かりの後、合祀致します。

■ 一人用(先祖代々含む)

七十万円

■ 夫婦用

百万円

費用には、永代供養料、納骨法要料、位牌製
作費、骨壺費用が含まれています。

随时相談承つております。

来寺お電話にて、事前予約・お問い合わせください。
※宗旨・宗派は問いません、但し、興正寺の教義に則り
ご供養致します。

052-1832-12801(九時～十八時)

最新情報のご確認は公式サイト・電話でお願い致します。

寺のいとなみ

午前十一時

JAXAと環境省、国立環境研究所が共同プロジェクトで開発した人工衛星「いぶき」をご存知でしょうか。温室効果ガスを宇宙から測定する人工衛星です。公募から選ばれた「いぶき」という愛称は、地球の息づかい（息吹）を観測する衛星という意味が込められ名付けられたそう。観測データは今の地球の息づかいを知り、私たちの未来のために活用されます。

ともすれば忘れてしまいますが、私たち人間も自然の一部。自然の恵みを美味しくいただくことにより、身体や心も育まれてゆきます。いのちを繋ぐための食事は、受け取る側の私たちの心が育まるのと併せ、感謝し謙虚に残さず食べるという食事

合掌

僧侶として日々を過ごしていく中で毎日欠かさずやることがある。それは手を合わせることだ。これは「合掌」といって、右手は仏の象徴で清らかなものや知恵を表す。左手は衆生、つまり自分自身であり、不浄を持ってはいるが行動力の象徴である。両手を合わせることにより、仏様と一体になることや仏様への帰依を示すとされる。仏教徒は、あらゆる挨拶において合掌をするが、特に他人に向かって合掌をすることは、その者への深い尊敬の念を表す。これは僧侶や仏教徒に限らずみなさんも日常的に手を合わせることはあるのではなかろうか。

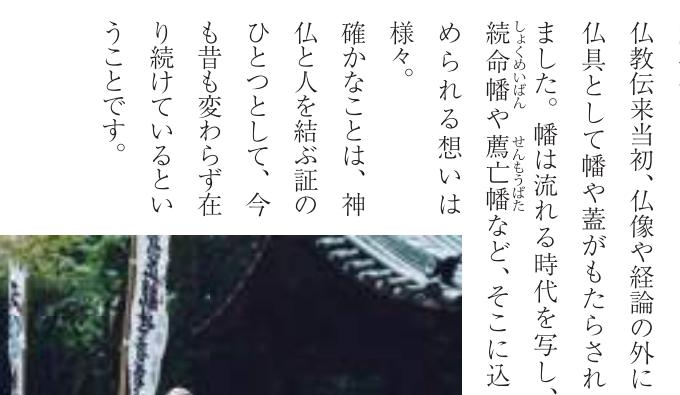
観の精神性をも養つていきます。
食事も修行とされるのは、そのような背景もあつたのでしょうか。

とに気付かされ、これに応ずる心のあり様を静かに吹きこまれる気がするのでした。



仏壇の前に座る時。お寺や神社などで参拝をする時。宗教ごとに限らず普段から手を合わせたりする。食事をいただくときに「いただきます」と「ごちそうさまでした」をする時や、人にお願い事をする時。この手を合わせという行為は何を表し、何に対して手を合わせのか。私が思うにこの「手を合わせ」というのは気持ちを形にして、目に見えないモノに対して手を合わせのではないかと思う。

色々なものが便利になって見えていなかったものが見えるようになり、目に見えないものを感じにくくなつてきているのではないだろうか。私たちの周りにある目に見えないものをつなぐ「ご縁」に気付く第一歩が手を合わせことであり、それは私たちの人生をより豊かにするのかもしれない。



縁日は仏様とのご縁を深く結ぶ日です。どうぞ参拝ください。

内観の旅路



僧侶 西山海良（文・墨絵）
高野山で修行の後、平成19年に興正寺に入山。現在では、観音堂の堂守として毎月18日の縁日でのお勤め、また竹翠亭にて、写経・阿息觀の指導を行い、毎月21日のマルシェ茶席を担当する。

僧侶 豊田正純（文）
昭和56年生。平成23年入山。2児の父。



見習い僧 中道圭照（文・切り絵）
平成7年生まれ。平成30年入山。

「たたずまい」という言葉がある。たたずまいとはその人の雰囲気や生き方を表すものである。しかし本当のたたずまいとは、余計なもの全て削ぎ落した純粹な心のことだと思います。余計なものがないからこそ真実の声が聞こえる。常に自分の立ち姿には、自分の心が投影される。はたして自分はどんなたたずまいをしているのだろうか。

「たたずまい」を見につけたいのです。そこには「風のない竹林に自分の身を置きしばらくそこに佇むとき、自我を離れ心だけが自然に佇む、何処からともなく竹の声が聞こえる。それは真実の声である。

「無風竹有聲」
風無く竹の聲あり

高山は風起り易く、深海は水量り難し、空際は人の察する無く法身のみ独り能く詳らかなり。空海

現代語訳：高山は風が起りやすく、海の水の量は測ることができない。この空の果てがどうなっているのかは、人はわからない。

ただ大日如来が知っているだけだ。

『神や仏はその人に越えられるぎりぎりの試練を与える』といふ。私たちはもしかすると自然を破壊し続けていたのかもしれない。自肅により空気はきれいになつた。地球温暖化も減速に転じているそううだ。私たち自身の行いを見直す絶好のチャンスなのかもしれない。

そうコロナ収束時期はだれにもわからぬ。しかししながらこれは必ずいつか収束にむかう。楽しい宴も楽しく無い宴もいつかは終わってしまうのだ。

「真実の声が聞こえる」、そんなたたずまいを見につけたいのです。

牛には四つの胃袋があるそうです。口にした物を繰り返し噛み栄養に変える。

そして、身体の中には大量の微生物が住み食べ物を分解している。微生物を毒から守るために牛の舌は非常に発達している。

意外な一面というものが誰もあります。

牛は飼い。皮肉なことわざも確かにあります。しかし、優れた中身を持っているのが、「丑」であると言えます。

「大智は愚かなるが若し」 弘法大師

優れた知恵者は愚か者にみえる。一見、愚鈍に思われる牛も、実は大きなパワーを秘めている。

牛の歩みも千里。私も一步一歩、精進していきたいと思います。

興正寺の上午、読経と施食作法を行なう僧侶の姿があります。

私たちが宇宙で暮らす未来があるのか、大地の息づかいを間近に観じる環境に生きるのかは想像すら及ばないことです。しかし、僧侶のそんな姿に接すると、どこか慈愛の念を観じ、自分が「いぶき」の巡りのなかにいることに気付かされ、これに応ずる心のあり様を静かに吹きこまれる気

ができます。確かにこれは、神佛と人を結ぶ証のひとつとして、今も昔も変わらず在り続いているといふことです。

仏教伝来当初、仏像や經論の外に仏具として幡や蓋がもたらされました。幡は流れる時代を写し、統命幡や薦亡幡など、そこに込めた想いは様々。

仏教伝来当初、仏像や經論の外に仏具として幡や蓋がもたらされました。幡は流れる時代を写し、統命幡や薦亡幡など、そこに込めた想いは様々。

空華翁の花がたり

三百年以上前、八事の地は起伏のある丘陵地で、主に松林だったと思われる。松はよい燃料となり、護摩産だつた。山林もそれ 자체が一つの命ある存在として、やがて時と共に姿を変えていく。今現在、樹齢が寺の年を越え、堂々たる姿を湛えている老木は、かつて松林の片隅で控え目に芽吹いた楠やアベマキ達だ。やがて大地にしつかり根を下ろし、度重なる災害にも身を挺して土地を護ってきた大木は、その樹影に当時を偲ばせつつ、気づくと街路樹として人の生活圏の中に組み込まれたり、あぐく人の生活に支障を与える存在になつたりする場合もあるのだ。人は勝手に土地の陣取りをやり、彼ら森の世界に侵入し、その存在自体を邪険に思う事すらある。寺という空間の中でも、我ら人は人の都合で植え、人の都合で断つ。あるがままに、懸命に生きる命は自らの姿を世界に合わせて変える。一方、先を見通そうとする我ら人は周りの世界を変えしていく。紅葉を愛で、落ち葉を厭い、時の重さを感じる。



「今この時を嘆くまい。この花影の下に立つて世界を見上げて見ると良なため息は、やがて春の息吹となつて冬咲く桜の梢を幽かに揺らす。」

空華翁のどこか寂しさを含んだようないい。「空華翁のどこか寂しさを含んだようないい。」

空華翁のどこか寂しさを含んだようないい。なため息は、やがて春の息吹となつて冬咲く桜の梢を幽かに揺らす。

八事山古地図探訪

八事山
遍照院
興正寺
境内全図

厄払い厄除け厄落としは施しの心持ち

もらい開運厄除や家内安全を祈るもの

です。

西山本堂のご本尊は、阿弥陀如来様で、正面より左に目を向けると、後生淨土、安樂往生（ぼつくりころり）極樂淨土へのお導きの仏様の大隨求明王様が安置されております。この大隨求明王様は他のご利益として安産祈願の仏様であります。特に毎月、五日、十三日の縁日にお唱えしている「大隨求陀羅尼」は人間の罪を滅してくれるお経です。人は生を受け今現在、それから未来にかけて罪をつくり、またその罪を重ねていきます。ところで、その罪とは何かというと、それは生死の罪であります。

日ごろ食している食物は、生き物の命をいただいている「殺生」というものです。仏教では殺生は大罪です。しかしながら人間は食していかないと生きていけない、生きるために殺生をしなければならない。それが仏教における罪、この罪を持ち続けると、死後、極楽淨土に行けないと言われています。ですから、寺や神社にいって、滅罪、厄除けや、又は年に一度、祈祷をして

厄払い厄除け厄落としは施しの心持ちを受け一年間、自分の身に厄が当たらないように、身代わり札やお守りを受け、厄除け星祭りをします。そして豆をまいて施しをする厄落とし、それ以外に厄年的人は、日ごろお世話になつていふ人に施しをするとか、食事などをふるまつたりして厄落としをします。厄年的人は特に、自分の損得を別にして施しの心持ちをもつ事が大事です。

合掌



絵 四季桜の花
場所 里山

縞模様の間合い

Chapter 4 ジャパニーズ・愛 JAPANESE EYE



講座のご案内

最新情報のご確認は公式サイト・電話にてお願い致します。
世相等により掲載の予定(参拝方法含)は中止変更となる場合があります。

阿息観
修行のひとつとされる「写経」。一字一字を写すことだけに集中いたしました。ひどい筆づつ文字をしたためる時間の中で、自身の心を見つめましょう。



写経
金剛流御詠歌の入門講座。作法や符の読み方からはじめます。入門編に触れた後には、初級・上級講座も。

御詠歌入門講座

仏典(仏教典籍)とは仏教における権威ある書物のこと。平安時代に書かれた地獄・極楽を詳しく説いた『往生要集』を読み解きます。

仏典読み解き講座

TERA-YOGA
花のある暮らしは、心もやわらかになります。季節の草花と向き合って、その日出会った器に生ける。花をいつくしみ生かす精神と基礎を学び、日々を豊かにする体験講座です。
(資格取得目的講座ではありません)



ヨガの基本を優しくレッスンします。普段とは違う寺の雰囲気の中で月に一度の自分をねぎらう時間として。



日本人同士には、「阿吽の呼吸」「ツーカーの仲」というような間合いがあります。現在はどうかわかりませんが、ひと昔前までの日本人はどちらかというと口下手で、寡黙な方が饒舌よりも美德とされました。そういった風土の中で、「言葉にしなくとも通じる間柄」「ひと言発するだけで通じる間柄」を理想とした表現が、冒頭の二つの言葉です。しかし、実際にそれを実現するのは難しいことです。良くも悪くも、「空気を読む」敏さが要求されます。とはいえ、それは自分の自由が奪われるような同調圧力なのではなく、むしろ相手の心のありようと自分の立ち位置を探りながら切り結んでゆく、まるで格闘技のような「間合い」なのです。

江戸時代、庶民に許されたファッショնは、色は藍と柿渋と鼠。布は木綿と麻だけでした。たびたび発せられる、贅沢を禁じるというお上からの法令に押さえつけられて、しかし庶民はしたたかでした。限られた色と限られた素材

で、為政者には派手に見えない工夫を重ねて生み出されたのが、驚くほど多彩な縞模様なのです。幅の広い縞から、ため息の出るほど纖細な細い縞まで。また、様々な太さの縞のコンポジション、また不真面目なゆらぎを楽しむ縞模様。そう、まるでお上のガミガミ叱りつける声をからかうようにすり抜けて、伸びやかに、纖細に、また大胆に、そして何よりも粋に。庶民とお上との緊張関係やお目こぼし、それら間合いを計る格闘のひとつの結果が、日本の服飾文化のなかの縞模様なのです。

日本人同士の持つほどよい間合い。つかず離れず相手を思いやるさりげない気遣いは、もしかするとこういった緊張感を伴いながらも、楽しみつつ極め続けてきた「間合い」に由来するのかもしれません。

distance is derived from these adjustments, which carried tension while exploring the fun elements.

Japanese people have a concept of distance involving harmonious relationships and knowing what the other party is thinking. Although the situation may be different today, previously Japanese people were poor talkers and reticence was considered more of a virtue than talkativeness. This is best embodied in the concepts described at the beginning. But realizing these concepts is difficult. For better or worse, being keen to vibes is a necessity. However, this isn't a form of peer pressure that deprives one of freedom, but a distancing found in martial arts, where one explores the other's condition while finding their own position.

During the Edo period, fashion permitted for commoners included colors such as blue, persimmon tannin, and gray. The cloth was made from either cotton or hemp. Although held back by frequent

edicts from higher-ups banning luxury, the commoners were determined. A stunning diversity of striped patterns was created with limited colors and materials through a repetition of ingenuity, so as to not make it look flashy to the rulers. The stripes ranged from wide stripes too breathtakingly fine-spun stripes. Others were composites of stripes of different widths and stripes with frivolous and enjoyable patterns. It was as if slipping past the nagging of the higher-ups completely, delicately, boldly, and above all, stylishly. Striped patterns in Japanese fashion are the result of the tension between the commoners and higher-ups, and the struggle to find the right balance between them.

The Japanese people keep just the right distance. Maybe the casual consideration of others while maintaining a reasonable

Tea ceremony experience

Reach beyond time and enjoy the essence of Japanese culture. The preparation and drinking of tea is central to the culture of Japan. At Chikusui-tei, Matcha tea and confectionary are even more delicious in a fine example of traditional architecture that was built in the Taisho Period (1911-1925). COST▶ A bowl of Matcha tea and a piece of traditional Japanese sweets are included in the 500 yen admission fee to enter Fumon Garden. (Reservation required) am10:00~pm4:00/irregular holidays

講座名	時間	場所	講師	開講日 1月～6月	支具料	申込	備考
阿息観（瞑想・密教禪）							
阿息観	14時～16時	-	杉浦宣秀僧侶	毎月10・20・30日 (3/20除く)	無	不要	座禅が組める服装
遊翠の心 阿息観	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	西山海良僧侶	1/26・2/23・3/30 4/27・5/25・6/22	1,500円	要	座禅が組める服装
写経							
写経写仏はじめて講座	11時～14時 (法話13時)	光明殿	舛田英伸僧侶	毎月21日	1,000円	不要	時間内随時 初心者は11時より
遊翠の心 写経	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	西山海良僧侶	2/9・3/9・4/6 5/25・6/22	1,500円	要	-
御詠歌入門講座	14時～16時	光明殿	鈴村智弘僧侶	1/23・2/6・20・3/6・27 4/3・17・5/1・15・6/6・19	無	不要	-
仏典読み解き講座	10時～12時	普照殿	舛田英伸僧侶	3/18・4/28・5/18・6/18	無	要	④筆記用具
遊翠の心 水墨画	14時～16時	竹翠亭	山田静舟	1/22・2/26・3/26 4/23・5/28・6/25	2,000円	要	-
遊翠の心 きもの装い	初級10時～12時 応用13時～15時	竹翠亭	竹翠亭	2/10・17・3/3・10 4/7・5/12・6/2	2,000円	要	4月開始年間講座 申込開始2/7 10時
遊翠の心 茶の古典を読む	10時～12時	竹翠亭	舛田英伸僧侶	3/4・4/1・5/6・6/3	1,500円	要	④筆記用具
和文化体験 いけばな	13時30分～15時	-	華道高野山講師 小林弘子・平野裕子	2/18・3/18・4/8 5/20・6/17	3,000円	要	花材代含む ④花ばさみ・花合羽
遊翠の心 茶の扉	10時～12時 14時～16時	竹翠亭	竹翠亭	春4/28・5/26・6/23	6,000円	要	全3回講座 申込開始2/28 10時
子ども寺子屋くらぶ	10時～12時	竹翠亭	竹翠亭	3/31	1,500円	要	-
一日修養会	10時～14時	光明殿	舛田英伸僧侶	3/7・4/3・5/8・6/12	2,000円	要	昼食代含む ④筆記用具
TERA-YOGA							
レギュラークラス	10時～11時30分	観音堂	西口のぞみ	毎月21日(1/21除く)	2,000円	要	-
マタニティクラス	13時～14時10分	観音堂	西口のぞみ	毎月21日(1/21除く)	2,000円	要	-

*④=持ち物 *「遊翠の心」支具料は講座後の呈茶含む *場所変更は当日境内掲示でご確認ください

ふわっと春色 しあわせ暦ごはん

鰯の桜蒸し

材料(2人分)
生鰯の切り身(白身魚)…2切れ
桜の塩漬け……………4~5本
菜の花(お好みの青菜)…3~4本
しめじ(お好みの茸)……適量
○昆布茶……………小さじ1/2
○酒……………大さじ1.5
○水……………大さじ1.5

つくり方
① 桜の塩漬けの表面の塩を洗い流し、濃い塩を落とします。
② 菜の花を茹で水切りし、適当な幅に切っておきます。
③ ○を混ぜ耐熱皿に入れ、鰯、しめじを並べ、①をのせる。
④ ふんわりとラップをし、500Wレンジで4分程加熱する。
⑤ お好みの器に盛り付け。

ふわっと春の香りが広がる春にぴったりの桜漬け。二輪のものは結納などの祝い事に用いられ、縁を花で結ぶ縁起物ともされます。桜の塩漬けは表面の塩を落として5~10分程度水にさらし塩抜きすると、ぐつと使いやすくになります。ごはんに桜を混ぜた「桜ごはん」やお彼岸に「桜色のおはぎ」など、彩をそえて楽しむ暦ごはんは如何でしょうか。

花明かり。
満開の桜は、暗闇の中で周辺をほんのりと明るく照らしているように感じられる様子からそう呼びますが、奈良時代には桜よりも香り高い梅の人気があり、「花」といえば梅のことを意味していたそう。



つむぎたい心

いまの自分がいるのは
ご先祖様のおかげ
はるか遠い過去から脈々と
受け継がれてきたもの
そしてふたりの結婚を架け橋として
いつか誕生する子供へ孫へ
受け継がれる縁
だからこそご先祖様に感謝を捧げ
後々の世代の幸福を願い
縁を尊ぶ儀式を行う

仏前挙式は
仏様とご先祖様に
結婚を報告する形式で進められる
そこに日本人らしさを感じて
この結婚式を選びました

ペンネーム

H
&
A

投稿を募集します

皆さまのこぼれ話「つむぎたい心」を紹介します。文章のみの場合は400字以内。写真は2L判までで説明200文字以内、撮影場所、年月を明記。

[送付先]

〒466-0825 名古屋市昭和区八事本町78「八事山文庫編集係」

メールの場合は info@koushoji.or.jp 氏名・住所・電話番号・ペンネームを明記。

※ 投稿や写真の返却は致しません。採否問合せや回答もお受けいたしません、ご了承ください。

3月
「弥生」

1	月 赤口	休 普門園
2	火 先勝	
3	水 友引 戌の日	きもの装い [遊翠の心]
4	木 先負	茶の古典を読む [遊翠の心] 申込み切 一日修養会 (3/7)
5	金 仏滅 啓蟄	縁日 大隨求明王 露 干支成満巡り 休 普門園 (13時より)
6	土 大安	準世代祥月 開山忌記念茶会 御詠歌入門講座 休 普門園
7	日 赤口	祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納) 一日修養会 受付開始 想耕茶会 (5/7)
8	月 先勝	縁日 大日如来 休 普門園
9	火 友引	写経 [遊翠の心] 申込み切 春彼岸 (郵送受付) 申込み切 動物慰靈法会
10	水 先負	きもの装い [遊翠の心] 阿息観 八事夢講座
11	木 仏滅	
12	金 大安	12世祥月
13	土 友引	縁日 虚空蔵菩薩 露 干支成満巡り
14	日 先負	興正寺開山忌 祥月忌合同供養会(圓)
15	月 仏滅 戌の日	縁日 阿弥陀如来 休 普門園

16	火 大安	
17	水 赤口	彼岸
18	木 先勝	縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座 和文化体験いけばな
19	金 友引	
20	土 先負 春分 春分の日	永代祠堂法会 人形仏具供養会 興正寺施主慰靈法会
21	日 仏滅	縁日 弘法大師 露 TERA-YOGA 写経写仏はじめて講座
22	月 大安	
23	火 赤口	
24	水 先勝	縁日 地蔵菩薩
25	木 友引	
26	金 先負	水墨画 [遊翠の心]
27	土 仏滅 戌の日	8世祥月 朱 涅槃会(旧暦2/5) 安産合同祈祷会 御詠歌入門講座
28	日 大安	縁日 不動明王
29	月 赤口	休 普門園
30	火 先勝	阿息観 [遊翠の心] 阿息観
31	水 友引	子ども寺子屋くらぶ [春] 申込み切 一日修養会 (4/3) 休 普門園

御縁日 [毎月] | 5日 10時……大隨求明王 露 | 13日 10時……虚空蔵菩薩 露 | 18日 13時……觀世音菩薩 | 24日 13時……地蔵菩薩
8日 12時30分…大日如来 | 15日 13時……阿弥陀如来 | 21日 10時30分…弘法大師 露 | 28日 14時……不動明王

4月 「卯月」	1	木 先負	15世祥月 茶の古典を読む [遊翠の心]
	2	金 仏滅	
	3	土 大安	御詠歌入門講座 一日修養会 休 普門園
	4	日 赤口 清明	祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納) 休 普門園
	5	月 先勝	縁日 大隨求明王 露 干支成満巡り
	6	火 友引	写経 [遊翠の心]
	7	水 先負	きもの装い [遊翠の心] 自動車図書館巡回日
	8	木 仏滅 戌の日	縁日 大日如来 華曼荼羅会(大日堂) 和文化体験いけばな
	9	金 大安	
	10	土 赤口	阿息観
	11	日 先勝	祥月忌合同供養会(圓)
	12	月 先負	休 普門園
	13	火 仏滅	縁日 虚空蔵菩薩 露 干支成満巡り
	14	水 大安	
	15	木 赤口	縁日 阿弥陀如来
	16	金 先勝	休 普門園
端午の室礼 [竹翠亭]	17	土 友引	興正寺月釜 御詠歌入門講座 休 普門園
	18	日 先負	縁日 観世音菩薩
	19	月 仏滅	休 普門園
	20	火 大安	穀雨 阿息観 戌の日
	21	水 赤口	縁日 弘法大師 露 八事夢講座 マルシェ茶席 TERA-YOGA 興正寺マルシェ 写経写仏はじめて講座
	22	木 先勝	17世祥月
	23	金 友引	4世祥月 水墨画 [遊翠の心]
	24	土 先負	縁日 地蔵菩薩 安産合同祈祷会 十三参りの日
	25	日 仏滅	
	26	月 大安	休 普門園
	27	火 赤口	阿息観 [遊翠の心]
	28	水 先勝	縁日 不動明王 茶の扉 [春①] 仏典読み解き講座
初夏の宝物展	29	木 友引	昭和の日
	30	金 先負	阿息観

※ 特別朱印授与あり 露 露店出店あり

干支成満巡り(受付10時納経所前、無料／朱印代別途)

講座 | 緑文字 詳細確認・予約は 凡例
公式サイト利用が便利です靈=靈龕堂 佐=佐羅陀淨苑 遮=遮那奏苑 圓=圓照堂
永経=永代祠堂 永納=永代納骨 休 普門園=普門園休園日 [竹翠亭舎]

都合により予定が一部変更になる場合があります。随時、公式サイトにてお知らせ致します。

1 土 仏滅	御詠歌入門講座
2 日 大安 戌の日	朱 御正當(旧暦3/21) 祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納)
3 月 赤口 憲法記念日	
4 火 先勝 みどりの日	
5 水 友引 立夏 こどもの日	縁日 大隨求明王 露 大般若經転読祈禱会 干支成満巡り 申込み切 一日修養会 (5/8)
6 木 先負	茶の古典を読む [遊翠の心]
7 金 仏滅	想耕茶会 休 普門園
8 土 大安	縁日 大日如来 一日修養会
9 日 赤口	祥月忌合同供養会(圓)
10 月 先勝	阿息觀 休 普門園
11 火 友引	写経 [遊翠の心]
12 水 仏滅	きもの装い [遊翠の心]
13 木 大安	縁日 虚空藏菩薩 露 同行永代経 干支成満巡り
14 金 赤口 戌の日	
15 土 先勝	縁日 阿弥陀如来 御詠歌入門講座
16 日 友引	

初夏の宝物展

端午の室礼「竹翠亭」

17 月 先負	休 普門園
18 火 仏滅	縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座
19 水 大安	朱 花まつり(旧暦4/8) 八事夢講座
20 木 赤口	阿息觀 和文化体験いけばな
21 金 先勝 小満	縁日 弘法大師 露 マルシェ茶席 TERA-YOGA 興正寺マルシェ 写経写仏はじめて講座
22 土 友引	安産合同祈禱会
23 日 先負	
24 月 仏滅	縁日 地蔵菩薩 休 普門園
25 火 大安	阿息觀 [遊翠の心]
26 水 赤口 戌の日	茶の扉 [春②] 自動車図書館巡回日
27 木 先勝	夏安居(開白) (旧暦4/16)
28 金 友引	縁日 不動明王 水墨画 [遊翠の心]
29 土 先負	
30 日 仏滅	阿息觀
31 月 大安	休 普門園

御縁日 [毎月] | 5日 10時……大隨求明王 露 | 13日 10時……虚空藏菩薩 露 | 18日 13時……観世音菩薩 | 24日 13時……地蔵菩薩
8日 12時30分…大日如来 | 15日 13時……阿弥陀如来 | 21日 10時30分…弘法大師 露 | 28日 14時……不動明王

6月 [水無月]	1 火 赤口	
	2 水 先勝	きもの装い [遊翠の心]
	3 木 友引	茶の古典を読む [遊翠の心]
	4 金 先負	
	5 土 仏滅 芒種	縁日 大隨求明王 露 不動護摩堂特別祈禱会 干支成満巡り
	6 日 大安	祥月忌合同供養会 (靈・圓・佐・遮・永経・永納) 御詠歌入門講座
	7 月 赤口 戌の日	休 普門園
	8 火 先勝	縁日 大日如来 写経 [遊翠の心]
	9 水 友引	申込み切 一日修養会 (6/12)
	10 木 大安	5世祥月 阿息觀
	11 金 赤口	16世祥月
	12 土 先勝	祥月忌合同供養会(圓) 一日修養会
	13 日 友引	縁日 虚空藏菩薩 露 不動護摩堂特別祈禱会 干支成満巡り
	14 月 先負	休 普門園
	15 火 仏滅	縁日 阿弥陀如来 10世祥月
	16 水 大安	八事夢講座

17 木 赤口	和文化体験いけばな
18 金 先勝	縁日 観世音菩薩 仏典読み解き講座 休 普門園
19 土 友引 戌の日	興正寺月釜 御詠歌入門講座 休 普門園
20 日 先負	阿息觀
21 月 仏滅 夏至	縁日 弘法大師 露 マルシェ茶席 TERA-YOGA 興正寺マルシェ 写経写仏はじめて講座
22 火 大安	阿息觀 [遊翠の心]
23 水 赤口	茶の扉 [春③]
24 木 先勝	縁日 地蔵菩薩
25 金 友引	水墨画 [遊翠の心]
26 土 先負	安産合同祈禱会
27 日 仏滅	
28 月 大安	縁日 不動明王 休 普門園
29 火 赤口	
30 水 先勝	阿息觀 申込み切 一日修養会 (7/3)

七夕の室礼
「竹翠亭」定期購読のご案内
発行毎にお送り致します。お申込みは公式サイト・電話・来寺にて。(購読・送料無料)

公式サイト



Instagram



facebook